

## 取組みの主な進捗状況

### 生活のDX

#### 「はぴコイン」の利用が広がっています！



デジタル地域通貨「はぴコイン」を活用したサービスが広がっています。給付金支給やポイント付与による動機付け、地域コミュニティ活性化等に活用されています。また、ふく割終了後、はぴコインを活用しプレミアム付商品券「ふく+」を発行するなど、消費喚起施策としても役立てられています。今後も暮らしをより豊かにするデジタルサービスの充実に取り組んでいきます。

#### バス・タクシーもキャッシュレス促進！

北陸新幹線延伸に合わせて、路線バスで交通系ICカードが利用できるようになりました。また、県内タクシー車両の約6割で配車アプリが、約7割でキャッシュレス決済が利用できるようになり、利便性が向上しました。今後も公共交通の利便性向上や、二次交通の充実を図っていきます。



### 産業のDX

#### 観光バスでバーチャル体験を提供します！



県がJR西日本と連携協定を締結し準備を進めてきた観光バス「WOW RIDE いこっさ！福井号」が6月1日から運行開始します。福井が誇る風景や歴史、恐竜などが車窓や天井に映し出され、通常の観光バスでは出られない、臨場感あふれる体験を提供します。

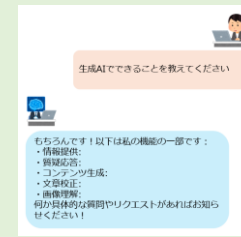
#### 福井ベンチャーピッチ in Tokyoを開催しました！

デジタル技術を活用したビジネス等を展開する福井発ベンチャー企業が、東京進出のパートナーや成長資金の獲得を目指し、VCや金融機関等前でセールスプレゼンを行いました。今後もDX推進に取り組むなど成長意欲のある県内企業を支援してまいります。



### 行政のDX

#### AIによる問合せ対応自動化の実証中！



県では、生成AIの業務活用を進めています。その一環として、企業と共同で、日本語に特化した国産生成AIによる庁内の問合せ対応自動化の実証を進めています。今後も行政業務への生成AI活用を推進し、業務効率化や県民サービス向上に努めます。

#### 福井DX体験会を開催しました！

行政の効率化や県民の利便性向上につながる最新のデジタル技術・サービスの体験会を県庁で開催しました。市町からも多くの職員が参加し、未来の行政事務のあり方に思いを馳せました。今後も行政や企業のDX推進に努めてまいります。



## 最近の県の動き

#### ふくいDXセミナーを開催しました！

3月21日、「ふくいDXセミナー」を開催し、オンラインも含め230名のご参加をいただきました。慶応義塾大学医学部 宮田教授を迎え、「ウェルビーイング×DX」をテーマにしたパネルディスカッションなど、大変盛況でした。



また、地方発のDX推進の最先端を目指す福井県の取組み（未来技術活用プロジェクト）6件について、県民・市町・県内企業向けに成果報告を行いました。



#### 市町の情報システム標準化を支援しています！

人口減少が進む中、行政サービスを維持するため、自治体基幹業務2.0システム（税、介護、子育て支援等）を令和7年度末までに標準仕様システムへ移行することが義務付けられています。

県では、県内全ての自治体が期限までに着実に移行が完了するよう、課題・ノウハウ等の情報共有をはじめ、移行計画作成の支援などの実務的な支援も行っています。

標準仕様システムへの移行により、自治体間の運用フローの差異がなくなり、申請書の様式統一やデータ連携が容易となることで、県民一人ひとりにあった支援が可能になるなど、県民の利便性向上にも寄与することが期待されています。



#### 避難所運営の支援を行っています

能登半島地震で被災した石川県に対し、福井県が開発した避難所運営システムを提供しました。

LINEを活用して入所の手続きが簡略化できる他、物資配給に関する情報を受け取れるなど、避難生活の支援に役立てられています。



今後も被災地への支援を継続するとともに、本県においても、訓練の機会などを通じて避難所での受付を体験していただくなど、県民の皆さまへの周知に努めます。

